

# 21st Century Snow Busters Project

## スノーバスターズ新聞

平成 25 年 1 月

発行：岩手県社会福祉協議会  
ボランティア・市民活動センター  
〒020-0831  
岩手県盛岡市三本柳 8-1-3  
TEL：019-637-9711 FAX：019-637-7592  
URL：http://iwate-volunteer.jp/



写真提供：西和賀町社会福祉協議会

### 除雪ボランティアのパイオニア その登場はまさに革命的だった

住み慣れた地域に住み続けたいという思いを持つ一人暮らし高齢者にとって、冬の間の除雪は大きな問題です。

地域によっては、冬の間、自宅まで車が通る道を除雪するのが自力では困難で、有料で除雪を依頼すると出費がかさんでしまいます。除雪をしないとデイスの送迎車両が自宅に近寄ることができず、迷惑をかけるという理由で冬期間はデイスの利用を雪のために断念せざるを得ない高齢者がいます。

冬期間、外部との接点となる通路を確保するため除雪をするという作業は、体力が低下した高齢者にとって、大変な労力を費やすことになり、結果として、雪に閉ざされた生活を余儀なくされる状況がありました。特に豪雪地域での高齢者の除雪問題は、冬場の生活課題上位に挙げられています。

そのような状況を緩和するため、平成5年に岩手県社協が呼びかけを行い、県内各地に除雪ボランティア「スノーバスターズ」が設立しました。「スノーバスターズ」は、冬の高齢者の暮らしを支えるボランティア活動として一気に広がりを見せ、活動が分かりやすく、参加しやすいことから呼びかけに応じる参加者も多く、雪の無い地域から活動に参加するボランティアまで現れました。

雪を退治する「スノーバスターズ」はネーミングの良さも相まって、毎年12月は活動の出発式や活動の様子等が新聞等で報道される、まさに冬のボランティア活動の代名詞になったのです。

## 21世紀スノーバスターズプロジェクト始動

スノーバスターズは、単なる「除雪ボランティア」ではありません。

「ばさま、まめでらが(おばあさん、元気で暮らしていましたか)」、「真飯(まめし)食(く)てらが(ご飯を食べて病気などせず暮らしていましたか)」等、訪問時のあいさつから始まります。

西和賀町のスノーバスターズでは、活動の出発前に、中学生に班長が高齢者宅を訪問した時、高齢者に聞こえる声であいさつをしてほしいと、右記のようなあいさつの練習をしてから除雪活動に出発します。

中学生、高校生等、若者が元気なあいさつを行い、除雪を行う。高齢者宅の見守り活動、世代間交流、地域における福祉教育など、様々な取り組みを兼ねたボランティア活動の一環として活動すること、これこそが「スノーバスターズ」の真骨頂なのです。これまでに約4,000名が参加しています。

### 皆さんの参加を待っています

雪が降ったら活動開始です！特に雪の量が多くなる1月～3月上旬にかけて、主に訪問先のお宅の玄関先や、屋根に積もった雪をおろした後、周辺の雪かきをお願いします。活動に際しては、地元のボランティアが同行する他、方が一に備えてボランティア活動保険に加入していただきますので安心です。

小・中・高校生、専門学校、短大・大学生を中心に、皆さんの参加を待っています！

### 万々に備えて!! «ボランティア活動保険に加入しましょう»

「ボランティア活動保険」は、日本国内におけるボランティア活動中に起こる様々な自己に対する備えとして無償で活動するボランティアの方々を補償する保険です。

◇保険料◇

Aプラン・・・280円

Bプラン・・・420円

(加入プランにより、ケガ、賠償責任の補償金額が変わります)

◇補償期間◇

加入手続きの完了した日の翌日から平成25年3月31日午後12時まで

◇加入申し込み窓口◇

最寄りの市町村社会福祉協議会、または岩手県社会福祉協議会で加入することができます。

☆保険に関する詳細は、下記ホームページをご覧ください

ふくしの保険 ホームページ <http://www.fukushihoken.co.jp>



一緒に活動しましょう! ~西和賀町から~  
西和賀町では、月1回第1日曜日、班ごとに活動しています。  
毎年、町内をはじめ県内各地から、多くの方々に協力いただいています。  
あなたの時間をぜひ地域のために生かしてみませんか!!

西和賀町社協 飯野さん



# スノーバスターズ 参加の心得

## その1：スノーバスターズの標準装備 (参考：越後雪かき道場ホームページより)

ポイント：「防水・防汗・防寒」

- 濡れないこと：水がしみると一気に体が冷えてしまいます。
- 汗を逃がすこと：作業を始めると暑くなり汗をかきます。汗対策は万全に。
- 寒くないこと：はじめ暖かく、途中から体温調整しやすいように重ね着がオススメ。

### ○帽子・ヘルメット

頭が濡れない対策は必須。  
地上での作業は落雪に備えヘルメットを着用してください。

### ○マフラー・ネックウォーマー

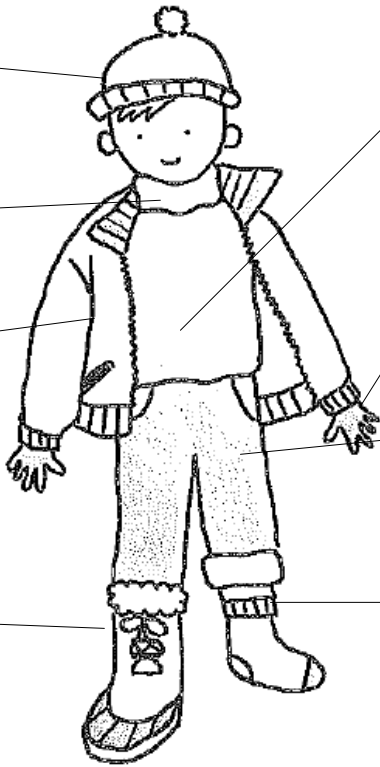
活動中は首元から雪や風が入って冷たくなります。  
マフラーやタオル、ネックウォーマーなどを着用しましょう。

### ○上着

水に強い素材で、丈が長いものがベスト。  
ただし、動きやすい長さのものを選びましょう。

### ○長靴

ひざ下までの長いタイプがオススメ。  
靴底は溝が付いていて、滑りにくいものを着用。



### ○下着

汗を吸いやすく、乾きやすいものを選びましょう。  
汗をかいた時のために、背中にタオルを入れておくとも良いでしょう。

### ○手袋

水が染み込まない滑りにくいものを選びましょう。  
(厚すぎると作業しにくいことがあります)

### ○ズボン

水に強く、風を通さないものを着用しましょう。

### ○靴下

下着同様、水に強く、乾きやすいものを着用しましょう。  
長靴と組み合わせて、足先が冷えないような工夫を勧めます。

## その2：相手の立場になって行動する

除雪先の高齢者宅を訪問した時、高齢者に聞こえる声であいさつをすることも、上記のような服装を心がけることも、除雪を依頼した方の気持ちに配慮するものです。

活動日が必ず晴天とは限りません。みぞれ雪が降る日に活動することもあるかもしれません。

そのような日に、防寒など活動に適した服装をせず、濡れた服、寒そうな格好をした人が

除雪活動に来たら、除雪依頼者はどういう印象を受けるか想像してみてください。

きっと、安心して任せることができません。

「このくらい平気」「短時間の活動だから」「見ているだけだから」と、自分たちの感覚で準備・判断するのではなく、依頼者の立場で考えることが大切です。



## 雪かき道具・スコップ紹介

出典

<http://www11.plala.or.jp/fuyufuyu/zyosetu.html>

- ①スノーダンプ 雪を運ぶ道具
- ②ジョンバー 軽い雪を除雪する道具
- ③スノープッシャー 軽い雪を押して除雪する道具
- ④スコップ 堅い雪を処理する



⇒左から①・②・③・④

※スコップ等は貸出している場合もあります。事前の確認をお願いします。

## 編集後記

今年もスノーバスターズ活動が始まりました。

例年より早く雪が積もり、各地でニーズが高まっていることと思います。

この度、スノーバスターズの活動について、歴史や活動報告を通じて、多くの方に知っていただくことを目的に「スノーバスターズ新聞」を発行しました。活動に興味を持ち、参加していただけたら幸いです。

地域の方々が冬期間を快適に過ごせるよう、ぜひ、皆さんの協力をお願いします。

なお、スノーバスターズが組織されていない市町村でも、雪かきボランティア活動を実施している場合があります。

参加を希望する方、詳しく知りたい方は、お近くの社会福祉協議会までお問い合わせください。

## 県内のスノーバスターズ一覧

《西和賀町スノーバスターズ》

《粟石町スノーバスターズ》

《金ヶ崎町スノーバスターズ》

《衣川区スノーバスターズ》

《西根地区寺田地域振興協議会スノーバスターズ》

《八幡平市安代地区スノーバスターズ》

《浄法寺スノーバスターズ》

《八幡平市松尾地区スノーバスターズ》

《八幡平市安代地区スノーバスターズ》

《奥中山スノーバスターズ》

《軽米町スノーバスターズ》

《山形町スノーバスターズ連絡会》

《田野畑村スノーバスターズ》

《遠野市社会福祉協議会》

